



早来地区・追分地区 アイスクャンドルのあかり

2月4日、早来地区と追分地区でアイスクャンドルの点灯が行われました。

ロビーコンサートの実行委員の方々、ボランティアの方々にバケツに水を入れて800個以上の氷のランタンを制作されたとのこと。完全に凍ってしまうとろうそくを灯すスペースが作れないため、うまくタイミングを見極めて、バケツから氷を取り出すそうです。

この写真は追分地区の「赤いひまわり街道」沿いに並べられたアイスクャンドル。この日は冷え込みが厳しく、写真を撮る手がかじかんでしまいましたが、美しくあたたかな光でも癒されました。

ロビーコンサートは新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止が続いていますが、アイスクャンドルは絶やさず行われています。来年こそはロビーコンサートも開催されますように。

【撮影・文】

地域おこし協力隊 木下

3年ぶりに道の駅で開催された冬イベント

地域おこし協力隊 木下 知佳



1月28日と29日、2月4日と5日の計4日間、道の駅あびらD51ステーションにて「冬遊び！HOT4DAYS」というイベントが開催されました。一昨年、昨年と中止となっていたので、3年ぶりの開催に。

スノーシュー体験のお手伝いを行っていたのですが、道外から来られていた方にも楽しんでもらえていたようです。何度もリピートしてくれた方や2日連続来てくれた方も！

個人的な作品が並んだ「早来雪だるま」、「ちびっこゲレンデ」など盛りだくさんのイベントとなりました。

広報あびら 編集者コラム vol.34



「地域福祉」から感じたこと

総務課情報グループ 亀井 紳之介

今回、「地域福祉」について特集を組みました。取材中、支援の必要な方を助きたい、居場所を作ってあげたいという思いが皆さんから強く感じられました。

表紙は、毎週月曜日にみんなの家でカフェを営業していると教えていただき、お邪魔したときの様子です。今回取材した3団体ともこのような地域との交流の場所づくりを進められています。

特集を機に、自立すること、他人と助け合う社会づくりを支援する方々がいることを少しでも知ってもらえれば嬉しいです。

